

# 新年のご案内

T567-0012  
 茨木市東太田二丁目九三二  
 浄土真宗 西福寺  
 本願寺派  
 TEL:072-567-0012 FAX:072-567-0013

み光に照らされて、新年を迎えることができます。  
 皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十二年最初のご案内を申し上げます。

がん たん え

## 元旦会

日時 一月 一日(祝) 昼一時

講師 本願寺中央講師



### 足利孝之師

「一年の計は元旦にあり」。阿弥陀様の御前で、新年を迎える私の心を見つめたいものです。お屠蘇進上。今年も福引を行います。お楽しみに。

足利先生、兵庫県尼崎市、安養寺住職。教誨師として多くの死刑囚を看取られたご経験から阿弥陀様のお慈悲について分かりやすく熱くお話下さいます。

お寺は、死を穢れたものとして遠ざけたりしません。大事な方を亡くされた方は、是非お寺にご参拝下さい。

### 年末年始のお参りについて

\* \* \*

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お遠夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までの都合の良い日をご連絡いただければ、お伺いいたします。もしくは、当山の元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

年内…12月30日(水)まで

新年…1月5日(火)から

\* 葬儀など緊急の際は、昼夜を問わず直ちにご連絡下さい。

072 622 3725

### 御正忌報恩講厳修

ごしよきほうおんこう

来る1月9日から16日までの期間、京都・西本願寺において御正忌報恩講がご修行になります。

報恩講は宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀様のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとって、もっとも大切なご法縁といえます。

住職は1月11日(月)午後2時からの遠夜法要に参拝いたします。

この機会に本山へ一緒に参拝いたしませんか。費用は特にかかりませんが、御佛飯料を進納いたしますのでご協力下さい。当日、直接お越し下さっても結構ですが、できましたら前々日(9日)までにご一報下さい(記念品がいただけます。)

万一の場合は、住職携帯まで

(090 1071 4881)

キリトリ

## 年忌表 (平成二十二年)

一三	周回	昭和三十七年
一三	周回	昭和三十八年
一三	周回	昭和三十九年
一三	周回	昭和四十年
一三	周回	昭和四十一年
一三	周回	昭和四十二年
一三	周回	昭和四十三年
一三	周回	昭和四十四年
一三	周回	昭和四十五年
一三	周回	昭和四十六年
一三	周回	昭和四十七年
一三	周回	昭和四十八年
一三	周回	昭和四十九年
一三	周回	昭和五十年
一三	周回	昭和五十一年
一三	周回	昭和五十二年
一三	周回	昭和五十三年
一三	周回	昭和五十四年
一三	周回	昭和五十五年
一三	周回	昭和五十六年
一三	周回	昭和五十七年
一三	周回	昭和五十八年
一三	周回	昭和五十九年
一三	周回	昭和六十年
一三	周回	昭和六十一年
一三	周回	昭和六十二年
一三	周回	昭和六十三年
一三	周回	昭和六十四年
一三	周回	昭和六十五年
一三	周回	昭和六十六年
一三	周回	昭和六十七年
一三	周回	昭和六十八年
一三	周回	昭和六十九年
一三	周回	昭和七十年
一三	周回	昭和七十一年
一三	周回	昭和七十二年
一三	周回	昭和七十三年
一三	周回	昭和七十四年
一三	周回	昭和七十五年
一三	周回	昭和七十六年
一三	周回	昭和七十七年
一三	周回	昭和七十八年
一三	周回	昭和七十九年
一三	周回	昭和八十年
一三	周回	昭和八十一年
一三	周回	昭和八十二年
一三	周回	昭和八十三年
一三	周回	昭和八十四年
一三	周回	昭和八十五年
一三	周回	昭和八十六年
一三	周回	昭和八十七年
一三	周回	昭和八十八年
一三	周回	昭和八十九年
一三	周回	昭和九十年
一三	周回	昭和九十一年
一三	周回	昭和九十二年
一三	周回	昭和九十三年
一三	周回	昭和九十四年
一三	周回	昭和九十五年
一三	周回	昭和九十六年
一三	周回	昭和九十七年
一三	周回	昭和九十八年
一三	周回	昭和九十九年
一三	周回	平成元年
一三	周回	平成二年
一三	周回	平成三年
一三	周回	平成四年
一三	周回	平成五年
一三	周回	平成六年
一三	周回	平成七年
一三	周回	平成八年
一三	周回	平成九年
一三	周回	平成十年
一三	周回	平成十一年
一三	周回	平成十二年
一三	周回	平成十三年
一三	周回	平成十四年
一三	周回	平成十五年
一三	周回	平成十六年
一三	周回	平成十七年
一三	周回	平成十八年
一三	周回	平成十九年
一三	周回	平成二十年
一三	周回	平成二十一年
一三	周回	平成二十二年

平成二十二年は、右の年に亡くなった方々の年忌に当たります。盛大であるに越したことはありませんが、ささやかでも、真心のこもった法要(法事)を勤めたいものです。法要は、命日に勤めることが理想ですが、都合で、日・月・年が前後にずれられる場合があっても構いません。法要を勤めるにあたっては、まず日程を任職にご相談ください。日取りが決まったら、親戚知人にも通知を出し、前日までにお仏壇をきれいに掃除し、お供物やお花、お香などを買って整え、心をこめて準備いたしました。そのほか、ご不明な点は何なりと任職までお尋ねください。

※左の点線部分で切り取って『真宗教団連合平成22年法語カレンダー』の台紙に貼ってご活用下さい。

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

# 二月のご案内

T567-0012  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二

厳しい寒さの中にも、春の息吹が感じられるようになってまいりました。

皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十二年二月のご案内を申し上げます。

第二百十六回

## 人生講座

日時 二月十四日(日) 昼二時～四時

講師 本願寺派布教使

長谷川毅正 師



長谷川(はせがわ)先生、五十四歳。大阪市西成区、西教寺住職。工業大学卒業後、国内外のプラント建設に従事、中央仏教学院・伝道院にて修学されました。九州男児の熱い語り口で聞く人を惹きつけます。

お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

## ハイチ大地震災害義援金

2010(平成22)年1月12日午後4時53分(日本時間13日午前6時53分)カリブ海のハイチ共和国で首都ポルトープランス付近を震源とするマグニチュード7の地震が発生し、甚大な被害が出ています。本願寺では、被災地の一日も早い復興を願い、『ハイチ大地震災害義援金』の受付を開始いたしました。

期間: 2010(平成22)年1月15日(金)～同年3月31日(木)

郵便振込: 010000469957 / 加入者名: たすけあい募金

通信欄に「ハイチ」とご記入ください

なお、お預かりした義援金は運営委員会にて審議のうえ、関係機関にお届けいたします。配分につきましては、後日、本願寺新報等にてご報告いたします。

\*お問い合わせは、住職まで(072-622-3725)。

## るんびに日曜学校「涅槃会」

ねはんえ

【二月二十一日(日) 午後二時より】

るんびに日曜学校は、小学生のための心の学校です。「涅槃会」では、お参り・法話のあと、劇やパネルシアター、お母さん方の本の読み聞かせなど盛りだくさんの内容で行われます。粗糲進呈。どなたでもお参りいただけます。

【日曜学校「涅槃会」次第】

献花・献灯・献香

おまいり「らいはいのうた」

法話(住職)

歌「つゆ」「たいりょう」「ほしとたんぽぽ」

パネルシアター「花さき山」

読み聞かせ(育成会)

劇「王舎城の悲劇」

ほか

## 西福寺アーカイブス

# 十七条憲法 (最終回)

大事なことは、制度ではないようです。その時、衆知をあつめて、最高の制度を作ったとしても、欠陥だらけの人間がやることです。完璧なことは何一つあり得ません。時代の流れと共に、歪(ひずみ)や弊害を生じてきます。歴史の事実が、示している通りです。

しかも一人の人間が考えることは、どうしても狭くなります。たぶん、見えない所だらけでしょう。ですから、『失(あやまち)あらんことを疑(おそ)る』という謙虚な心構えを忘れると、大変なことになります。

この謙虚さは、時々刻々に変化する状況にピタッと即応する心でもあります。新しいものを生み出す創造の泉といっても、過言ではありません。すまい。

五年前の一月から連載してきました聖徳太子の『十七条憲法』、どうにか最後を迎えました。

子供たちの苦悩を知るにつけ、大人の一人としていたたまれず、独断・偏見の誹(そし)りを覚悟で、続けてまいりました。識者には、笑止の沙汰と見えることでしょうか。もしこの中から、一つでも参考になることがあったら、望外の喜びです。長いあいだ、おつきあいくださつて、ありがとうございます。

(完)

1988年11月「西福寺だより」掲載

石川欣也先生の

法話のダイヤル 0743-53-4488

# 三月のご案内

T567-0012  
茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL:072-622-3725  
FAX:072-622-3725

柔らかな日差しに誘われて、メジロがツバキの蜜を吸いにやってきます。

皆様には如何お過ごしでしょうか。  
平成二十二年三月のご案内を申し上げます。

第二百十七回

## 人生講座

日時 三月十四日(日) 昼二時～四時

講師 本願寺派布教使

深川正延 師



深川(ふかがわ)先生、六十歳。大阪市北区永照寺住職。仏婦・仏青・幼稚園等の活動にも、熱心に取り組んでおられる先生です。

お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

## 初参式

昨年1年間(平成21年1月1日～12月31日)にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

とき 4月10日(土) 午後1時より

ところ 西福寺本堂

申込み 西福寺(072-622-3725)

締切り 3月末日

記念品贈呈。所要時間は約30分です。



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

## 彼岸会寄席

桂文福一座衆山



西福寺仏教婦人会3月の例会は、彼岸会(ひがね)寄席です。今年も文福一座の皆様にお越しいただけます。

桂文福さんは、昭和47年に五代目桂文枝師匠に入門されました。以来「出会い、ふれあい、わきあいあい」をモットーに100キロの巨体をものともせず、「ふるさと寄席」の座長として日本各地を飛び回っておられます。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、お楽しみ下さい。

日時 3月18日(木) 午後2時～3時半

場所 西福寺本堂

費用 千円(運営協力金として)

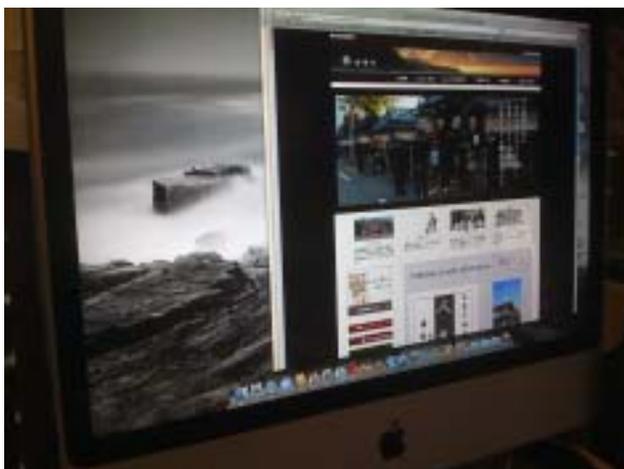
## ホームページ 開設しました

本年一月一日より当山西福寺のホームページを開設いたしました。

毎月のご案内はもとより、西福寺に係のある団体の紹介、西本願寺・大谷本廟の情報、年忌表、その他お役立ち情報を美しい写真とともに掲載しています。

アドレスは下記のとおりです。「るんびにどつとこむ/さいふくじ」とご記憶ください。インターネットへ接続できる環境にある方は、ぜひお立ち寄りください。

パソコンの扱い方やインターネットへの接続方法など、知りうる限りのことは、ご相談に応じます。お気軽に住職までお尋ねください。また、当ホームページについて、お気付きの点、ご感想などございましたら、何なりとお知らせください。よろしく願います。



いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

<http://runbini.com/saifukuji>

# 四月のご案内

T567-0012  
茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
TEL 072-622-3725

春とは名ばかりの肌寒い日が続きます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十二年四月のご案内を申し上げます。

第二百十八回

## 人生講座

日時 四月十一日(日) 昼二時～四時  
講師 本願寺派布教使

濱畑慧僚 師



■濱畑 (はまはた) 先生、三十七歳。高槻市、常見寺衆徒。龍谷大学哲学科卒業後、平成九年より常見寺の境内地にある行信教校で浄土真宗のみ教えを学ばれる。前校長利井明弘師の薫陶を受け、信望も厚くお側にお仕えになつておられました。以来、真摯に教学の研鑽を積まれておられます。■お誘いあわせの上、こぞつてお参り下さい。

るんびに日曜学校をお手伝いしていただける方、募集しています。

\* \* \*



『るんびに日曜学校』は、家庭や学校では疎かになりがちな人間として大切な《心》を学ぶ、小学生のための学校です。活動をより充実させるため、先生としてお手伝いしていただける方を募集しています。開校日は原則として、毎月第3日曜日。朝9時半～正午。主な行事は、花まつり・お抹茶作法・工作・夏のお泊り会(1泊2日)・秋の遠足・涅槃会(歌や劇の発表)などです。交通費実費支給・薄謝進呈。18才以上。ひとまずお電話下さい。(電話072 622 3725)

いしかわきんや  
石川欣也先生の  
法話のダイヤル0743-53-4488

4月10日は、「花まつり」です。

『花御堂』を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのお誕生を祝います。あなたも、お友達をさそつて、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



4月10日(土) 西福寺  
午後2時～8時 072-622-3725

昼2時から法要(15分程度)。  
夜8時まで、お参りできます。  
先着100名の方には粗供養を進呈。  
昼1時から初参式(しよさんしき)厳修。  
昨年生まれたばかりのかわいいほとけの子供たちがご家族の方々とともにお参りされます。お時間の許す方は、ぜひお立会い下さい。

親鸞聖人750回大遠忌

## 茨木東組お待ち受け法要厳修

世の中安穩なれ

5月30日(日)

茨木市クリエイトセンター



浄土真宗本願寺派(西本願寺)では、平成23年4月にお迎えする親鸞聖人750回大遠忌法要の気運を盛りあげるとともに、新たな門信徒の誕生や寺院や組活動に従来ご縁のなかつた方々の参画をめざし、全ての「組(そ)」において、それぞれの地域性や特色を考慮した法要行事が修行・開催されることを目標としています。

茨木市内本派寺院18ヶ寺からなる「茨木東組(ひがしそ)」では、5月30日(日)茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)において、お待ち受け法要を厳修いたします。

龍谷大学吹奏楽部・バトンチアの若々しく華やかなパフォーマンズに始まり、宗祖讃仰(さんこう)作法によるお勤め、ご法話として法話楽団「迦陵頻伽(かりよびんが)」の皆さんによる歌とお話し。最後は「しんらん音頭」の総踊りで賑やかに楽しく幕を閉じます。

入場無料(全席自由)となっております。ご参加の申し込みは、4月22日(木)までに西福寺へご連絡ください。

(電話072 622 3725)

# 五月のご案内

T567-0012  
茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL:074-622-3725 FAX:074-622-3725

天候不順の中、今年も藤が咲きそろいました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十二年五月のご案内を申し上げます。

## 永代経 法要 厳修

日時 五月十五日(土) 昼二時・夜七時

十六日(日) 朝十時

講師 前中央仏教学院々長

北畠晃融師

永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(菅純和師著「仏事の小箱」より)いこうと願われる方々によって営まれる法要です。お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

「法事は仏事とも言うて、単なる仏教行事ではなく、お浄土にご往生された仏さまのお仕事(石川欣也師「善正寺だより」より)」です。

なるべくご希望通りお伺いしたいと存じますが、どうしても土日・祝日の午前中に集中いたします。間際になって「何日の何時にお願いします」と申されてもお受けできない場合がございますので、ご理解下さい。先着順にお引き受けしてまいりますので、何をさておいても、まずはお寺までご一報下さい。また、お寺の行事(永代経・報恩講など)は、あらかじめ執り行う日時が決まっております。重なる時間帯には、何年先でもお受けすることができません。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(電話) 072-622-3725

永代経に向けて(お願い)

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

5月14日(金)午後7時〜於西福寺本堂  
おかげさまで(供物をそなえます)



## 茨木音楽祭



5月5日(ごどもの日) 11時スタート

茨木市中央公園グラウンドほか

入場無料

大阪の北摂地域に位置する茨木市は、阪急電鉄、JR、名神高速のインターチェンジを多くの人々が通勤や商用で利用して生活を送っています。なかでも沿線付近には数多くの商店、公共施設があり、独自色を打ち出している経営に努力する人が数多くいます。しかしながら、茨木に住む大半の人がその存在を知らず、住むだけで娯楽や飲食は都心部で楽しむということが現状です。住むというだけではまちの活性化には繋がらず、住民一人ひとりがまちの発展に参加できることが、ひいては産業の発展、教育への取り組み、文化の形成を担うものと考える有志が集まり、有志を中心とした実行委員会を立ち上げました。音楽を通じて、まちを元気にしよう!音楽のまち、いばらきにしよう!みんなが楽しいまちにしていきましょう。

茨木音楽祭実行委員長

福永孝文

るんびに太鼓は11時よりメインステージで演奏の予定です。



# 六月のご案内

T567-0012  
茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL:078-231-5400 FAX:078-231-5401

寒暖の差が大きく、季節が右往左往しているようです。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十二年六月のご案内を申し上げます。

第二百十九回

## 人生講座

日時 六月十三日(日) 昼二時～四時  
講師 本願寺派布教使

藤 正史 師



藤(ふじ)先生、四十四歳。岸和田市、慈光寺住職。関西学院大学社会学部卒業。NTN(株)会社員を経て、現在に至る。中央基幹運動推進専門委員・大阪教区布教団役員・大阪教区基幹運動推進委員を務め、大遠忌法要を控えた宗門の伝道活動に大きな貢献をいただいています。お誘いあわせの上、こそつてお参り下さい。

### 「食事のことば」が新しくなりました。

食前のご挨拶(合掌)

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、  
このごちそうをめぐられました。  
(同音)深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。  
食後のことば(合掌)

尊いおめぐみをおいしくいただき、  
ますますご恩報謝につとめます。  
(同音)おかげで、ごちそうさまでした。



「食事」をいただく時に、私たちは何を思い、どのような思いをいただいているのでしょうか。

- 「食」 それは「多くのいのち」をいただいています。
- 「食」 そこには「みなさまのおかげ」がありました。
- 「食」 仏さまの「ご恩」を深く喜ぶことができます。
- 「食」 「惭愧」と「歡喜」の心でもって「仏恩報謝」につとめてまいりましょう。

食事の際に一人ひとりが「ご恩」を味わえるように、新「食事のことば」ができました。従来から親しんでこられた方も、いままであまり口にされてこなかった方も、この新「食事のことば」を自ら声にだして、深く尊い「ご恩」を喜ばせていただきましょう。

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

### 宮崎県口蹄疫被害義援金

宮崎県では、4月20日の口蹄疫発生以来、口蹄疫防疫活動により影響を受けた畜産農家に対する支援を行うため、5月14日から「宮崎県口蹄疫被害義援金」を左記により募集しておりますので、ご協力をお願いします。

義援金の配分については、県、社会福祉法人宮崎県共同募金会及び関係機関で構成される義援金配分委員会において決定し、市町村を経由して口蹄疫により被害を受けられた畜産農家に配分します。

ゆうちょ銀行口座  
記号：017409  
番号：69998

口座名：社会福祉法人宮崎県共同募金会  
問い合わせ先

宮崎県福祉保健部福祉保健課  
電話 0985-26-7074  
社会福祉法人宮崎県共同募金会  
電話 0985-22-3878

### 寺報メール便

## 月々の案内をメールで読む

3つのメリット

- 早い！ パソコンの電子メール(Eメール)に添付しますので、配達に要する時間がかかりません。
- きれい！ 写真やイラストがカラーで見ることができます。
- エコ！ 紙の原料となる森林の伐採を減らし、地球温暖化防止に役立ちます。

### お申し込み方法

下記のEメールアドレスまで、お使いのパソコンもしくは携帯端末からお申し込みください。

その際、件名欄に「メール便希望」。  
本文で、現在郵送している寺報のあて先(住所・お名前)を必ず明記して下さい。  
お申し込み受付後、郵送でのご案内は停止させていただきます。あらかじめご了承ください。

メールに添付されるファイルは、PDF形式です。閲覧するには、お使いのパソコンにアクロバトリーダー(無料)がインストールされている必要があります。

なお、ご不明な点やお問い合わせは、Eメールまたはお電話でご連絡ください。  
(電話)072 622 3725

Eメールアドレス: saifukuji@runbini.com